

# 学生たちがPC教室運営

## 一般受講者への指導丁寧

飯田コアカレ

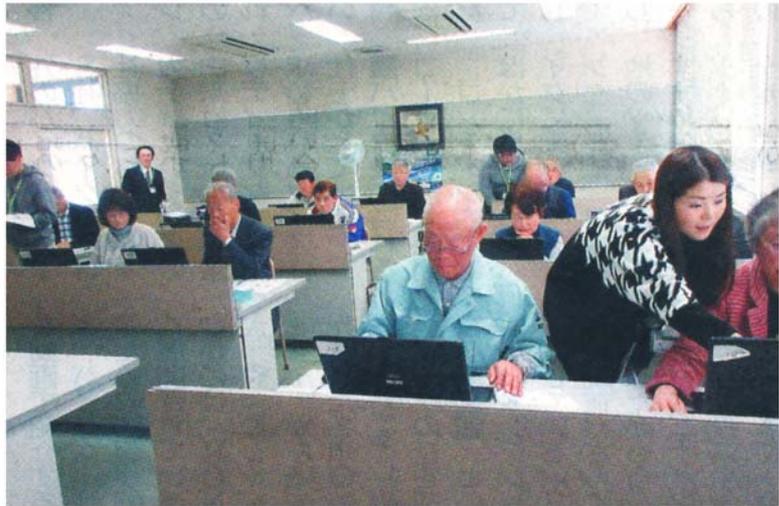
飯田市松尾明の飯田コアカレッジ(坂巻道弘校長)の1年生が15日、一般を対象にしたパソコン教室を開き、33人を指導した。企画から本づくりまでを自分たちで行う恒例の取り組み。文章作成と表計算の2コースで

分かりやすい指導に努めた。

ITスペシャリストとITビジネス学科の10人が「パソコン教室企画運営」の授業で昨年10月から準備。講座内容の検討からテキスト作成、進行計画、リハーサルまでを重ねて迎えた。

中級の文章作成講座では、長文の目次づくりやページ番号挿

入などの操作方法を紹介。表計算では、ボーリングのスコアを例にデータを入力し、平均得点を折れ線で示すグラフづくりの手法を伝えた。受講生の多くは不慣れな高齢者が多かったが、マンツーマンの丁寧なアドバイスに徹して、参加者からは「分かりやす



学生が講師を努めた教室

かった「定期的に開いてほしい」などと好評を得た。

「教える実践を通じて習得したコンピュータ知識を再確認し、コミュニケーション能力の育成を図る」との狙いで、学校側はキャリア能力の発達を促す学習課程に盛り込んでいく。

表計算の講師役を務めたITスペシャリスト学科の赤木智哉さん(19)は「シナリオを考えて準備をしたが、想定外の質問もあり対応が難しかった。良い勉強になった」と話していた。次回は8月を予定している。